

ここが聞きたい
一般質問



12月4日に開催された婚活講座（江刺区）

めだけでなく結婚を望む若者への人生支援であり地域を救う大きな事業と思います。次の時代に生き残る市として本気で対応する必要があると思うが伺います。

市長 平成19年から出合い創出事業を実施し、参加者350名、カップル30組、結婚1組とまだまだ十分ではありません。街づくりの前に子づくり、その前に結婚があります。本当に決まるまでのフォローと参加しやすいものにする必要があります。重要政策と位置づけてしっかりと取り組みます。

○高齢者の施設入所希望者の解消について
○在宅介護の負担軽減策について
○税収悪化による奥州市の財政運営について



せき 関 しょうこ 笙子

質問 施設に入りたくても入れない高齢者が奥州市内で600名を超過しております。この方々は介護保険料を納めている人達です。この状況を踏まえて市の施設計画はどのようなになっているか伺います。

また、自宅で介護を受けている人も330名程いると聞いております。老々介護の実態も多数存在する中で、24時間の見守りやお世話には心身共に疲れ、今後を心配している方も多い現状です。介護の負担を少しでも軽減する方策を考えてほしいと思いますが伺います。
市長 高齢者は今後ますます増えていく現状にあり、対策は早急に立てなければなりません。今年の3月に21年度から23年度の施設整備計画を立てました。163名分の施設整備を計画しましたが、国の交付金を受けさらに61名追加の224名分の施設整備計画としました。また在宅介護をしている方の負担軽減については、今のサー



いきいき高齢者の舞台発表（前沢区）

ビスをきめ細かに組み合わせ充実を計ってまいります。

質問 不況等の影響を受け、市の税収が減っていると聞きます。市民サービスを落とす事なく、また借金に頼らない財政運営が求められます。財政の健全化計画策定の時期ではないかと思いますが市長の考えを伺います。

市長 この不況はもう少し続くと考えなければいけません。合併効果の件もあります。財政の健全化計画の提言をいただきました。早急な対応が求められます。全職員一丸となり、また市民の皆様のご協力をいただきながら乗り越えてまいります。

○米の生産調整結果
○浄化槽設置への補助制度



ちば まさふみ 葉 正文

質問 4月当初は生産調整への不参加者が多くいましたが、その後どのようになったか伺います。

市長 4月段階では、370農家、100ha程の転作未達成となりましたが、農協、市、県が一体となって取り組み、多くの農家の協力により、生産調整は奥州市全体で100%をクリアできました。

質問 水田転作に関わる「特別定着カウント」が水沢区と他の区では対応が異なっていることについて、その実態と今後の対応について伺います。

市長 果樹等の水田転作における「特別定着カウント」を、米の配分の際に、基礎面積に含めていない地域（旧水沢市）と、基礎面積に含めているそれ以外の地域とがありました。
市として統一すべきですので、22年産米に間に合うよう努力したいと考えています。